

昭和三十二年
春季リーグ戦

優勝特集号



待望の優勝を成し遂げた立大野球部



発行所
豊島区池袋三丁目
立教大学新聞学会
電話(97)3121-9内線97
発行人 野口定男
毎月廿日発行



- 一面 記念写真
- 二面 記 録
- 三面 総 評
- 四、五面 座談会
- 六面 選手の横顔
- 七面 各 界
- 八面 優勝の表情
- 九面 写 真
- 十面 広 告

スポーツ文化芸能

報知新聞

明るい家庭へ楽しい話題!

- 権威ある批評解説
- 正確を誇る記録
- 迅速美麗な写真
- 躍進する発行部数

◇日本の代表的文化人50人の変節の資料◇ 価250円〒24

進歩的文化人

自分の意見のみが正しくてそれに従わない奴は全部バカヤロウだというような意見は好まない——かつてそういう意見を他人に強制しておきながら、いつの間にか全然その反対みたいなことを主張して、しかも威張っている——
所謂「進歩的」文化人諸君の中に、その手合がいかにか多いか、本書をみるとよく分る。

- 柳田謙十郎 等四十四人
- 長田 新 内山 完造
- 矢川 龍光 平野義太郎
- 富原 誠一 帆足 計
- 前芝 健三 西園寺公一
- 窪川 鶴次郎 高倉 テル
- 岩上 順一 堀江 昌二
- 阿部 知二 名和 統一
- 堀 真琴 深尾須磨子
- 信天清三郎 齋川 虎三
- 末川 博 野川 新
- 栗原 誠也 周 博
- 羽仁 昭子 高良 とみ
- 吉野源三郎 木村 八郎
- 岡本 清一 鳳 章
- 中村 哲 出 陣
- 清水幾太郎 園分一太郎
- 安井 郁

好評・再版発売中!

千代田区 全貌社 振替東京 177752
永田町1-3

スポーツと芸能のことなら
いちど読んだら止められ
ない洗練された紙面

スポーツニッポン

¥200円で最高の内容
申込みは近くの毎日専売店へ

野球雑誌の王者!

面白い最新ニュース満載の月三回発行
毎月25日発売(¥150)・10日発売(¥80)

ベースボール マガジン

立大優勝す!
☆立教一点を守りきって先勝
☆立教鮮やかな打撃
☆立教の勝利神宮にひびく

東京都千代田区 ベースボール・マガジン社 振替東京
神田錦町3の3 46620番



杉浦(右)と長嶋

★祝・優勝!!★伝統と権威・日本一の野球雑誌!!

野球界

六月号 発売中!!

三原脩のチーム運営学
一対戦三原監督・大沢選手
巨人は立直る四月八日
坪内道典・堀内忠雄・大島信雄
現代の野球……小西博昭
スタア 選手の技術解剖
未完の大投手中山・川上打法
光輝ある松岡学術球史……

六大学リーグ座談会
出席者(豊)永野(豊)根井(豊)小坂(豊)杉浦(明)近藤(東)百高
六大学リーグ戦殊勲
感激集(録音と観戦記)
六大学合宿巡り(記事と写真)
六大学熱戦グラフィック
ルーキー日記(立教大学の巻)
神宮の風雲児……

長嶋茂雄
風に靡え大投手……好村 三郎
三六五日の練習日……宇野徳太郎
僕の偶像はマントル……長嶋茂雄
長嶋選手略歴……ホーマー記録
神宮のスーパーマン……長嶋選手
長嶋選手獲得秘話……X.Y.Z
或る日の 杉浦忠投手
エピソード

千一四〇円 東京新報
千一六円 揚子博友社

どうせ買うなら自慢の出来る
山口の高級 **スポーツ車**

☆御用金は全国八千軒
(カタログ送呈) 山口自転車代理店へ

山口の自轉車

ツーリング・スポーツ車 19,800円
レディーズ・スポーツ車 19,800円
レーシング・スポーツ車 20,500円

6ヶ月
分割払

☆展示会 各車100余種類 (山口サイクルセンター3階常設)
京都市台東区竹町135 国産部徒歩下車5分

株式会社 山口自転車工場

貸スポーツ車
保有 5,000台

(1日間)
A級 500円 B級 400円 C級 300円

申込所
山口サイクル倶楽部 都内北区四軒町
電話(91)0715
山口自転車代理店取扱所

祝
立大優勝

傑作を約束する...
東芝の **マツダ** 閃光電球

小型で、光量が50%増加/
新製品
スーパーO
現金定価 30円

反射傘が上下左右自由に回転する
東芝のマツダB.C. 閃光電球
オールマイト 現金定価
電池・キヤパシター付 2,950円

「シンクロ撮影の手引」贈呈 お問合せは.....
東京都港区赤坂溜池8 東芝写真用品株式会社へ

東芝商事株式会社・東芝写真用品株式会社

祝優勝

昭和石油株式会社

社長 早山 洪二郎

本社 東京 丸ノ内 東京ビル

夏こそ **正丸峠**

新装なる
ガーデンハウス
大広間・貸切室完備
泊寝具付 150円

バンガロー
7~8人用 500円
3~4人用 350円

池袋から約2時間

案内所 電話 (97) 0636 (35) 6092 西武電車

石神井公園夜間開場
ポイント場 六月十五日から
釣道場 毎日十時まで
石神井公園駅下車

新しいスイスのナイロンの強さを生かした

ニテレー **ナイロン** 混紡 30% **学生服**

非常に強く経済的
皺がよりにくく日に焼けない
洗つて縮まず、色の落ちない

日本レイオン

文部省・通商省
推奨の国産合成繊維

いままでの
3倍のアワだち
がピカッと歯を
美しくします

新歯磨を一度
おためし下さい

二つのムシ歯予防剤(ガードント
とアンモニウム)がムシ歯を一そ
う的確にふせぎます
胸の中までスーッとする爽やかさ
フルーツスペアミンの香をお
たのしみください

50エン
100エン

発売元 ライオン歯磨株式会社

六月三日の慶立決勝戦で、立教大学は杉浦の好投に二と二点のリードを守り抜いて勝点を挙げ、春六大学リーグ戦の覇権を獲得した。

六大学 シーズン後半に充実

真田幸一

全般的に見ると今シーズンは、比較的早期から立教の上位、早法の中位、明東の下位と三つのグループに別れる傾向が強く、また中位以下のチームにあつては卒業による主力選手の交替等で選手層の厚みが薄くなつた結果、チーム全体としての実力は必ずしも充実して居なかつたが、例年に比して、やや低調であつた感があつた。しかしその中であつて、立教大学の凄惨な奮闘争い、なまなまとして最下位脱出を狙う東大とこれを食い止める明大との熱戦、あるいはまた法大の予想外の健闘等が、リーグ戦後半の盛り上がりとなつて現われてきた。

立教は昭和二十八年以来四年振りの優勝を獲得したが、その最大の原動力となつたのは、いづれでもなく杉浦投手の巧みな投球であつた。殊に後半打撃がやや沈滞して上りなかつて現われてきた。

杉浦投手が、美事カムバックして、その実力を万人に認めしめたのは、真に賞讃に値するものである。本塁打、盗塁、長打を中軸とする打線もまた十分な得点をたたき出した。前半における高橋、後半における西岡、片岡あたりの活躍も、時にスランプ気味だった主力

打者の低調をカバーし、控え投手としての責任を十分に果たした。彼らの好投と共に、杉浦のピッチングを助けていた。たとえチーム打撃が低かつたとはいえ、やはり優勝チームにふさわしい打撃で、ついでに、小笠原がピッチングを助けていた。たとえチーム打撃が低かつたとはいえ、やはり優勝チームにふさわしい打撃で、ついでに、小笠原がピッチングを助けていた。

この選手を卒業させ、戦前劣勢を黒柱と頼む投球投手の不調がその第一の原因であり、宮崎、森を主軸とする打線の沈滞が第二の原因である。杉浦投手は体格にも恵まれては居るが、早、東、明を凌ぐ外角低目への直球の威力は、彼等の並な球を凌ぐものがある。この選手を卒業させ、戦前劣勢を黒柱と頼む投球投手の不調がその第一の原因であり、宮崎、森を主軸とする打線の沈滞が第二の原因である。

東大は吉田、原田の二投手を擁しながら、今シーズンはやや苦しい期待に反して立憲法早の四投手に對しては、全くなす所を知らず敗れた。後半に辛うじて明大に勝つて貴重な勝点を積み上げた。最下位に甘んじていた東大には、これ以上を望むことが無理である。

最後に今シーズン活躍した選手達を拾つてみると、投手ではまず第一に立大に優勝をもたらした杉浦。長身をいっぺんに使つてサイドスローから繰り出される洋風気味の速球、シュートの威力は、六大学唯一万人の認める所で、これを打ち出すのは余程の打者でも困難であると思われる。東大の四人の投手の中では安定感のある林と速球の威力に時折折衷的なものを見せる高橋をあげたい。法大の投手はタフネスとフレキシブルな長打力に目をひかせる。捕手では東大の黒松が二カ一的存在、投手リードの巧みな事には法の迫田を許さぬし、八番ながらチャンスに選ばれる。主将として陣頭に立つ気概充分である。法大水野も新人としては堅実な投手をみせた。内野手では立大の超人長高、駆使がクローウツはきとリッチの広さを誇る本塁打、東大の藤村、リーディングヒッターを率つた加藤と法大の志貴、外野手では東大の長尾、池田、明大の近藤がめづらしい所でありまた法大の山本は一年生でありながら強打よく法大打線の中心となつて注目を集めた。なおこのほか立大の高橋、法大高橋、東大高橋、立大高橋の好守等が印象に残つて来た。

総評

シーズン前からの下馬評通り、母校ナインは四度目の優勝を飾つた。勝つて不思議のない、他校を圧倒するチーム力といつてしまえばそれまでだが、離伏四年、ハシースターの完全優勝に、眼頭の熱くなる観衆を驚かしたのは僅者一人ではある。

土曜十勝一敗一引分、勝率九割九厘、対戦成績では全勝の五勝点をあげて、最終週の早慶戦を待たずに完全優勝の偉業を樹立したのだから、まさに近來まれな快挙といつてもいいべきではないだろう。慶大との二回戦を、勝運に恵まれて情報、昭和三年秋の慶大以来、リーグ戦史上二度目の無敗優勝を遂げたのは誇りだつたが、もちろん、それで胸の榮冠に傷がついたというわけではない。若い力を傾けて、ひたすらに勝ち取つた勝利の尊厳に、ただただ頭の下を思ふがするはかりだ。

今シーズンの母校を優勝に導いた殊勲者として、まず第一にあつた杉浦投手は、立教の十二試合のうち十試合に投げ、八勝一敗、完投七、自責点わずか四点で防禦率〇・四五という優秀な成績

をあげ、しかも完投ジャスト・アウト勝利の貴重な記録を残して居る。これは戦後間もない昭和二十一年秋の故岡本投手(皇大)が築いた一シーズン完投ジャスト・アウト七には及ばないとしても、戦後屈指の好投手となつたわけだ。立大と東大が対する二試合(立大と東大が対する二試合)を、真に賞讃に値するものである。本塁打、盗塁、長打を中軸とする打線もまた十分な得点をたたき出した。前半における高橋、後半における西岡、片岡あたりの活躍も、時にスランプ気味だった主力

をあげ、しかも完投ジャスト・アウト勝利の貴重な記録を残して居る。これは戦後間もない昭和二十一年秋の故岡本投手(皇大)が築いた一シーズン完投ジャスト・アウト七には及ばないとしても、戦後屈指の好投手となつたわけだ。立大と東大が対する二試合(立大と東大が対する二試合)を、真に賞讃に値するものである。本塁打、盗塁、長打を中軸とする打線もまた十分な得点をたたき出した。前半における高橋、後半における西岡、片岡あたりの活躍も、時にスランプ気味だった主力

技と和の勝利

田中幸一

六月三日の慶立決勝戦で、立教大学は杉浦の好投に二と二点のリードを守り抜いて勝点を挙げ、春六大学リーグ戦の覇権を獲得した。

全般的に見ると今シーズンは、比較的早期から立教の上位、早法の中位、明東の下位と三つのグループに別れる傾向が強く、また中位以下のチームにあつては卒業による主力選手の交替等で選手層の厚みが薄くなつた結果、チーム全体としての実力は必ずしも充実して居なかつたが、例年に比して、やや低調であつた感があつた。しかしその中であつて、立教大学の凄惨な奮闘争い、なまなまとして最下位脱出を狙う東大とこれを食い止める明大との熱戦、あるいはまた法大の予想外の健闘等が、リーグ戦後半の盛り上がりとなつて現われてきた。

立教は昭和二十八年以来四年振りの優勝を獲得したが、その最大の原動力となつたのは、いづれでもなく杉浦投手の巧みな投球であつた。殊に後半打撃がやや沈滞して上りなかつて現われてきた。

杉浦投手が、美事カムバックして、その実力を万人に認めしめたのは、真に賞讃に値するものである。本塁打、盗塁、長打を中軸とする打線もまた十分な得点をたたき出した。前半における高橋、後半における西岡、片岡あたりの活躍も、時にスランプ気味だった主力

この選手を卒業させ、戦前劣勢を黒柱と頼む投球投手の不調がその第一の原因であり、宮崎、森を主軸とする打線の沈滞が第二の原因である。杉浦投手は体格にも恵まれては居るが、早、東、明を凌ぐ外角低目への直球の威力は、彼等の並な球を凌ぐものがある。この選手を卒業させ、戦前劣勢を黒柱と頼む投球投手の不調がその第一の原因であり、宮崎、森を主軸とする打線の沈滞が第二の原因である。

東大は吉田、原田の二投手を擁しながら、今シーズンはやや苦しい期待に反して立憲法早の四投手に對しては、全くなす所を知らず敗れた。後半に辛うじて明大に勝つて貴重な勝点を積み上げた。最下位に甘んじていた東大には、これ以上を望むことが無理である。

最後に今シーズン活躍した選手達を拾つてみると、投手ではまず第一に立大に優勝をもたらした杉浦。長身をいっぺんに使つてサイドスローから繰り出される洋風気味の速球、シュートの威力は、六大学唯一万人の認める所で、これを打ち出すのは余程の打者でも困難であると思われる。東大の四人の投手の中では安定感のある林と速球の威力に時折折衷的なものを見せる高橋をあげたい。法大の投手はタフネスとフレキシブルな長打力に目をひかせる。捕手では東大の黒松が二カ一的存在、投手リードの巧みな事には法の迫田を許さぬし、八番ながらチャンスに選ばれる。主将として陣頭に立つ気概充分である。法大水野も新人としては堅実な投手をみせた。内野手では立大の超人長高、駆使がクローウツはきとリッチの広さを誇る本塁打、東大の藤村、リーディングヒッターを率つた加藤と法大の志貴、外野手では東大の長尾、池田、明大の近藤がめづらしい所でありまた法大の山本は一年生でありながら強打よく法大打線の中心となつて注目を集めた。なおこのほか立大の高橋、法大高橋、東大高橋、立大高橋の好守等が印象に残つて来た。



田中幸一氏



真田幸一氏

は英文毎日の生きた英語で!

The Mainichi

英文毎日は、広く早いニュース、すぐれた評論、興味ある読みもの、愉快な漫画、によつて日本を代表する最大の英字新聞です。

1カ月 ¥250

購読申込は毎日新聞専売所又は東京都千代田区有楽町毎日新聞社英文毎日営業部へ

TEL. (20) 0,675

新宿高野

宴会も出 来ます

FRUITS PARLOUR TEL(37) 2151 2152 2153

Couleurs tricolores qui sont douces, Atmosphere à la française qui fait devenir intime,

Café qui est bon en pensant,

Pensée

Côté de lést d'Ikebukuro

淡い三色の色調、ほんに心休まるフランス風の雰囲気、極めておいしいコーヒーを召しやらンセして頂きます

池袋東口 パンセ

祝優勝.....

1・3階 中国料理
2階 H I F I 純喫茶
コーヒー ¥80-

銀座茶廊

銀座 4丁目和光通通り
TEL (56) 4155-9



座談会

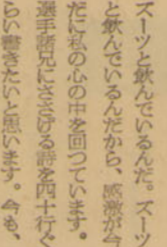
断乎唱えられたこの優勝

涙で声なき校歌

ハチロー前白

長嶋 隆男

本屋敷 三郎



優勝の味を語る

サトウ氏を囲んで



出ないど淋しい

片岡君は名紳士

ファイト出る

黄色い声

ハチローの時代は不自由の学府

教えきれぬ勝因

立大新聞部

とにかく愉快だ

立大新聞部 下正寿

森永キャラメル だれにもスカれる!

三愛 美しいお洒落

みのり 写真用品

立大優勝 森永 ベルトインストア

御買物は何んでも揃う 池袋センター

祝 立教大学野球部 池袋西口商店街

洋服のデパート 結城屋

ローズ毛糸店

コーリン

レストランK

ミヤコヤ

双葉洋服店

オンダクツミセ

ヒロセ洋服店

フルーツショップ 宮川

高級洋品 ツルヤ

白馬堂

尾沢電話店

文福

三原堂

美寶堂

三幸食堂

梅や

完全優勝達成の表情

【写真下】 K-R三回戦三回表二死走者二、三塁、打者中島 2-0のとき三塁走者浅井 突如本塁を敢行、立教優勝を決した決定的瞬間。(報知新聞提供)

【写真左】 試合終了と共にベンチ前へ集った選手達は、喜びの余り本塁教士を二度三度と擁抱して喜んだ。
応援団の無敵と称し、擁抱される本塁教士は、目にも彼を認むに難い。キラリと光るものがあつた。(朝日新聞提供)



試合終了後インタビューを受けるエース杉浦投手。



優勝の感激にひたりつつ応援団に挨拶する選手達前列は中川部長と辻監督



【写真下】 選手達が合宿し帰ると早くも近所の少年ファンが多勢集って選手達を迎えた。
この日の選手達は少年ファンのさし出すサイン帳にこころよく応じて合宿はこれらの少年達の映画で夜遅くまで湧立ち、ハシズン振りの感激の夜はふけていった。



【写真上】 球場を後にした立大生は夜に入ると共に賑々と地元池袋に集って来た。夜八時半頃にはその数は千五百名ほどになり最高潮となつて西口大通りは立教の校歌と応援歌にうなり、歓喜に沸く学生で一時は交通不能になるさまでしたが、天幕杯は早慶戦終了までおあすけなので、十時過ぎにはほつほつ静かになつていった。

【写真上】 球場よりバスで引上げた選手達は合宿し帰ると杯の後、歴戦のつかれを落すために風呂に入った。
なんどいっても選手達にとって今日の風呂は良い風呂はなかつたに違いない。



勢ずし
きおい
西口バス停前 TEL(97)4556

お食事は
三笠食堂
池袋店(97)3880 大塚店(97)4528

コーヒー(モーニングサービス45円)
珊瑚
東横西口(97)5316

シャンソン コーヒー
ジロー
池袋西口 Tel(97)5838

立教学院御指定
有限会社 スミタ帽子店
立教大学通り TEL(97)0729

お菓子の
不二家
池袋西口バス通り

COFFEE
純喫茶 ナイル
TEL(97)1012

純喫茶
池袋西口 TEL(97)9001

喫茶軽食菓子
ノトヤ
池袋西口駅前

とんかつ・一品洋食
吉田屋
池袋西口バス通り TEL(97)6538

うまくて栄養のある
雪印牛乳
土谷乳業有限公司
豊島区雑司ヶ谷6の1119 TEL(97)9212